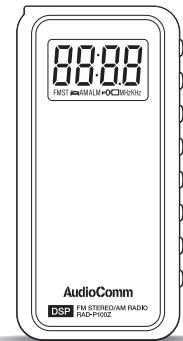


AudioComm®

保証書付 取扱説明書

ライターサイズDSPラジオ
型番:RAD-P100Z 品番:03-5016



このたびは、AudioComm® ライターサイズDSPラジオをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

目次

| | | | |
|------------|-----|------------------|---|
| 免責事項 | 表紙 | 5 | |
| 静電気に関するご注意 | 1 | メモリー登録 | 6 |
| 安全上のご注意 | 1~2 | アラーム機能（オンタイマー） | 6 |
| 各部の名称 | 2 | スリープ機能 | 7 |
| 乾電池の入れかた | 3 | 故障かなと思ったら | 7 |
| 時刻の合わせかた | 3 | 主な仕様 | 7 |
| ホールド機能について | 3 | お手入れのしかた | 7 |
| ラジオを聞く | 4 | 保証書とアフターサービスについて | 7 |
| | | 保証書 | 7 |
| | | 裏表紙 | 7 |

免責事項

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
 - 本製品のために費やした時間及び経費
 - 本製品を運用した結果もたらされた損害
 - 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
 - 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常
- 下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

| 保証書 持込修理 無料修理規定 | | | | | | | | | | | | | |
|---|---------------|-----------------------|---------|-----------------------|-----|--------------|---|------|------|---------------|-----|-----------|-----|
| 1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。 | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。 | | | | | | | | | | | | | |
| (1) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷 | | | | | | | | | | | | | |
| (2) 買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷 | | | | | | | | | | | | | |
| (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塗害、異常電圧、水掛けなどによる故障及び損傷 | | | | | | | | | | | | | |
| (4) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換 | | | | | | | | | | | | | |
| (5) 本書のご提示がない場合 | | | | | | | | | | | | | |
| (6) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収証でも未記入項目の代用となります。) | | | | | | | | | | | | | |
| (7) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷 | | | | | | | | | | | | | |
| (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷 | | | | | | | | | | | | | |
| (ト)贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。 | | | | | | | | | | | | | |
| 4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan. | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。 | | | | | | | | | | | | | |
| 商品名 | ライターサイズDSPラジオ | | | | | | | | | | | | |
| 型番 | RAD-P100Z | 品番 | 03-5016 | 保証期間: 本体1年間/お買い上げの日から | お客様 | ふりがな ★お名前 | 様 | 修理メモ | ★ご住所 | 〒 一 電話 () | 販売店 | ★住所 店名 電話 | (印) |
| 品番 | 03-5016 | 保証期間: 本体1年間/お買い上げの日から | | | | | | | | | | | |
| お客様 | ふりがな ★お名前 | 様 | | | | | | | | | | | |
| 修理メモ | ★ご住所 | 〒 一 電話 () | | | | | | | | | | | |
| 販売店 | ★住所 店名 電話 | (印) | | | | | | | | | | | |

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

*この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとににおいて無料修理をお約束するものです。

*この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

*保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お問い合わせの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。

*お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

◎OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ
 ●通話料無料 (P・公衆電話からは受付)
0120-963-006 048-992-2735
 ●携帯 (P・公衆電話からは受付)
 電話 048-992-3970 平日9:00~17:00
 修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ
 電話 048-992-3970 平日9:00~17:00
 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期に耳にびりびりと痛みを感じることがあります、これはイヤホンの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気が発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、影響が軽減されます。

安全上のご注意

警告 以下を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されますので必ずお守りください。

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに電源を切る。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、**使用を中止する**。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 分解、修理、改造しない。火災・感電の原因となります。
- 屋外で使用中に雷が鳴り始めたら、すぐに**使用を中止する**。落雷や感電の原因となります。
- 台所や浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では**使用しない**。火災や感電の危険があります。
- 乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池を誤って飲み込むことがないようにする。万一、飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談する。乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
- 車やオートバイ、自転車などの運転中は**使用しない**。交通事故の原因になります。歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。

注意 以下を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与える可能性が想定されますので十分ご注意ください。

- ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない。落下による故障やけがの原因となることがあります。
- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。本体に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かない。火災・感電の原因となることがあります。
- 乾電池を挿入するときは極性表示(プラス+とマイナス-の向き)に注意し、表示どおりに正しく入れる。間違えると、電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の乾電池は**使用しない**。また、古い乾電池と新しい乾電池、種類の異なる乾電池(例:アルカリとマンガン)と一緒に使わない。乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、パソコン、モニターなど)に近づけない。電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。
- 本機の上に重いものをのせない。故障や破損の原因になることがあります。
- はじめからボリュームを上げすぎない。長時間、大音量で聴き続けない。周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。
- 長期間本機を使わないときは、安全のため必ず乾電池を取り外す。火災・液もれの原因となることがあります。

乾電池を安全にお使いいただくために 液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。



警告

- ・地中への投入、加熱、分解をしない
- ・取り外した乾電池を幼児に触らせない
- ・ショートさせない
- ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない



注意

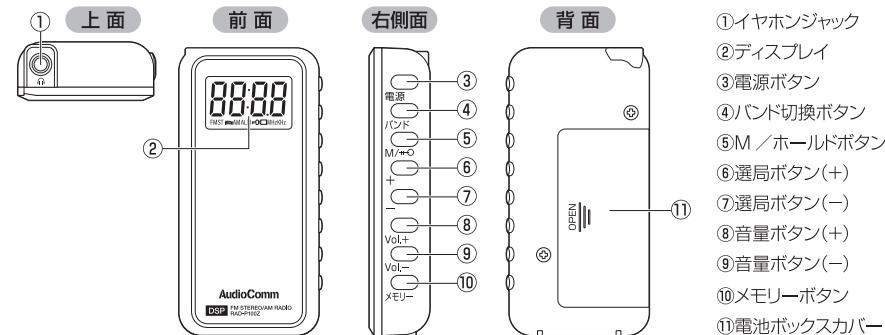
- ・⊕⊖の表示どおりに入れる
- ・指定以外の乾電池を入れない
- ・使用推奨期限内の乾電池を使う
- ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池と一緒に入れない
- ・使い切った乾電池はすぐに取り出す
- ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

●万一、液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。

●万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。

●使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

各部の名称



- ①イヤホンジャック
- ②ディスプレイ
- ③電源ボタン
- ④バンド切換ボタン
- ⑤M／ホールドボタン
- ⑥選局ボタン(+)
- ⑦選局ボタン(-)
- ⑧音量ボタン(+)
- ⑨音量ボタン(-)
- ⑩メモリーボタン
- ⑪電池ボックスカバー



- FMST FMステレオ受信
- FM FMモノラル受信
- MHz FM周波数単位
- AM AM受信
- KHz AM周波数単位

- π0 ホールドマーク
- 電池残量少
- △ スリーブマーク
- MHz FM周波数単位
- AM AM受信
- KHz AM周波数単位

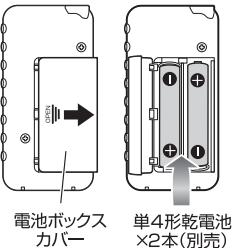
乾電池の入れかた

- 1 電池ボックスカバーの剥離部を押しながら、矢印の方向にスライドさせて開ける。

2 単4形乾電池×2本(別売)を、本体記載図柄を参照し、 \oplus と \ominus の向きに注意しながら正しく入れる。
電池ボックス内に刻印されているプラス(\oplus)、マイナス(\ominus)の図柄どおりに正しく入れてください。
コイルばねのあるほうが \oplus です。 \ominus 側から先に入れてください。

- 3 電池ボックスカバーを元どおりにしっかりと閉める。

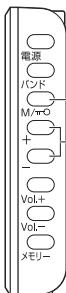
「00:00」が表示されますので、時刻を設定してください。



※アルカリ乾電池をご使用ください。マンガン乾電池、充電式乾電池では使用可能時間が短くなります。

※乾電池の残量が少なくなると、□が点滅します。早めに新しい乾電池と交換してください。

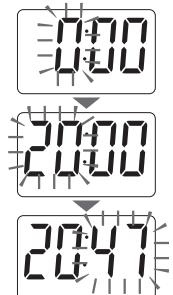
時刻の合わせかた



電源が切れている状態で操作してください。

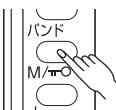
- 1 バンド切換ボタンを長押しする。
「時」表示が点滅します。本機の時刻は24時間表示です。
- 2 選局ボタン(+/-)で「時」を選び、
バンド切換ボタンを押す。
「時」設定が確定し、「分」表示が点滅します。
- 3 選局ボタン(+/-)で「分」を選び、
バンド切換ボタンを押す。
点滅が止まり、設定が確定します。

※約8秒間何も操作しないと、その時点で設定が確定し、点滅が止まります。修正するときは最初からやり直してください。



ホールド機能について

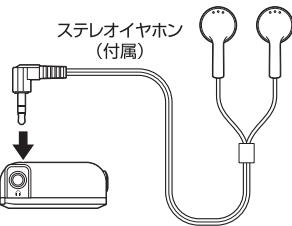
電源が切れているときに操作できます。



電源が切れているときにM / ホールドボタンを長押しすると、ホールド機能が有効になり、不用意に電源が入ってしまうのを防ぐことができます。ホールド機能が有効なときはホールドマーク(No.0)が表示されます。ホールド機能を解除するには、もう一度M / ホールドボタンを長押ししてください。

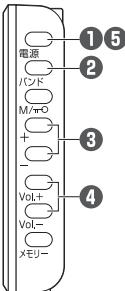


ラジオを聴く



使用時は必ずイヤホンを接続してください。

本機はスピーカーを内蔵していません。ラジオを聞くときは、必ず付属のステレオイヤホンをイヤホンジャックに差し込んでください。
※FMを聞くときは、イヤホンコードがアンテナとしても機能します。
※メモリー登録時は、イヤホンを接続しないと正常に動作しません。
※抜き差しするときはコードを引っ張らず、必ずプラグを持ってください。



- 1 電源ボタンを押して電源を入れる。
「On」の後、周波数を表示します。
- 2 バンド切換ボタンを押して、FM、FMステレオ(FMST)、AMを選ぶ。
押すたびにバンドが切り換わります。
- 3 選局ボタン(+/-)で聴きたい放送局に周波数を合わせる。
押すたびに数字が変化します(FM、FMSTは0.1MHz単位、AMは9kHz単位)。長押ししてから指を離すと速く送られ、いちばん最初に受信できた放送局で止まります。
※FMステレオでノイズが気になるときは、FMにすると軽減される場合があります(音声はモノauralになります)。



- 4 音量ボタン(+/-)で、音量を調節する。
0~16の間に調節できます。音量レベルが表示され、すぐに周波数表示に戻ります。
※音量の上げすぎにご注意ください。



- 5 終了するときは、電源ボタンを押す。
「OFF」の後、時刻表示に戻ります。

【FM補完放送「ワイドFM」について】本機はFM周波数帯域が76.0~108.0MHzまであり、FM補完放送「ワイドFM」に対応しています。FM補完放送「ワイドFM」とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のために新たにFM放送用に割り当てられた90.1~94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。FM補完放送「ワイドFM」の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

メモリー登録

AMは最大40局・FM(FMステレオ)は最大60局まで登録できます。

自動メモリー登録

お使いの地域で受信可能な放送局を一括して自動登録することができます。電源を入れて登録したいバンド(AM、FM)を選んだ後、以下の操作をしてください。

1 メモリーボタンを長押しする。

周波数が送られ始めたら指を離します。受信可能な放送局が見つかると周波数表示が止まり、「P01」(メモリーパン号: 数字は順に変化します)が表示された後、さらにスキャンが続きます。スキャンが終わると、「P01」の放送局を受信します。



2 登録した放送局を呼び出すには、M / ホールドボタンを押した後、選局ボタン(+/-)で、任意のメモリーパン号を選ぶ。

M / ホールドボタンを続けて押すことで選ぶことができます(押すたびにメモリーパン号が送られます)。

手動メモリー登録

普段よく聴く放送局を選んで、メモリー登録することができます。電源を入れて登録したい放送局を選んだ後、以下の操作をしてください。

1 登録したい放送局を受信し、メモリーボタンを押す。

メモリーパン号が点滅します。



2 選局ボタン(+/-)で登録したいメモリーパン号を選んで、メモリーボタンを押す。

3 登録した放送局を呼び出すには、M / ホールドボタンを押した後、選局ボタン(+/-)で、任意のメモリーパン号を選ぶ。

M / ホールドボタンを続けて押すことで選ぶことができます(押すたびにメモリーパン号が送られます)。

※自動メモリー登録は、できるだけ受信環境の良い場所(屋内の場合は窓際など)で行なってください。

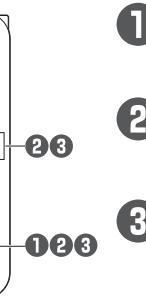
※自動メモリー登録を行うと、既に登録してある内容が上書きされますのでご注意ください。自動メモリー登録後に、手動にて同一番号を割り当てる場合も上書きされます(各メモリーパン号に登録した内容は、上書きすることはできませんが、消去はできません)。

※お使いの地域が変わった場合は、必要に応じて自動メモリー登録を直してください。

アラーム機能(オンタイマー)

電源が切れた状態で操作してください。

時刻を指定して本機の電源を入れることができます。あらかじめ受信したい放送局及び音量を設定した後、電源を切り、以下の操作をしてください。



1 メモリーボタンを長押しする。

アラームマーク(ALM)と「時」表示が点滅します。



2 選局ボタン(+/-)で「時」を選び、メモリーボタンを押す。

「時」設定が確定し、「分」表示が点滅します。



3 選局ボタン(+/-)で「分」を選び、メモリーボタンを押す。

点滅が止まり、設定が確定します。

その後、設定した時刻になると、電源が入ります。



※ステップ①でメモリーボタンを短く押すと、既存の設定時刻でアラーム機能がオンになります。

※イヤホンをしていないと、音は聞こえませんのでご注意ください。

※電源が入った後は、通常と同じように本機を操作できます。

※アラーム起動前に設定を解除するには、電源が切れているときにメモリーボタンを押して、アラームマークを消してください。

※アラーム起動前に電源を入れて、放送局や音量を変更すると最後の設定にて起動します。

スリープ機能

電源が切れた状態で操作してください。

電源が自動で切れるまでの時間を設定します(10分単位: 90~10分)



1 電源ボタンを長押しする。

スリープマーク(△)と「90」が表示されます。



2 そのまま押し続けて、設定したい電源オフまでの時間が表示されたら指を離す。

10分刻みで変化します。指を離すとそのまま電源が入ります。

スリープを解除するには、電源ボタンを押して電源を切れます。

故障かなと思ったら

●電源が入らない

- ・乾電池は正しく装着されていますか。⊕⊖の向きは正しいですか。
- ・乾電池が消耗していませんか。

●音が出ない／音が小さい

- ・電源は入っていますか。
- ・イヤホンが正しく接続されていますか。
- ・音量が最小になってしまいませんか。
- ・正しく選局していますか。
- ・乾電池が消耗していませんか。

●正常に動作しない

- ・乾電池が消耗していませんか(消耗していると、電源を入れることができてもすぐに切れたり、ボタン操作ができないことがあります)。
- ・近くで携帯電話を使用していませんか(携帯電話から離して使用してください)。
- ・テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信していませんか(テレビや蛍光灯から離して使用してください)。

お手入れのしかた

- 本体や操作ボタンが汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後乾拭きをしてください。

- シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。



シンナーやベンジン、
アルコールなどは
使用しない

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりませんので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときは：修理を依頼される前に、この取扱説明書をご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は：

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。

詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は：

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。

お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

主な仕様

電 源：DC3V 単4形乾電池×2本(別売)

受 信 周 波 数：AM 522~1620kHz

FM 76.0~108.0MHz

アンテナ：AM 内蔵フェライトアンテナ

FM アンテナ兼用イヤホンコード

電池持続時間：AM 約20時間

FM 約19時間

(新品アルカリ乾電池使用/音量中位の場合)

外 形 尺 度：幅40X高さ81X奥行17mm

質 量：約34g(乾電池を除く)

付 属 品：ステレオイヤホン(コード長:約120cm)、保証書付取扱説明書

※電池持続時間は、使用状況などにより異なります。

※外観・仕様は予告なく変更する場合があります。

※本書に使用している図版は、実際の製品と一部異なる場合があります。